

下には叙し侍らで、先外階に叙して、さて從五位下に叙する也。叙位の時、入内ウチナイの勘文とて、外記内階に入べきものを記してまいらするを執筆叙する也。中家の外記は、外階勞中一年以後記し申候、清家外記の外階に成たる翌年より勘文に載る也。略○中内階外階の姓の差別は、執筆する人の口傳ある事にや、

〔多々良問答〕一外叙位事姓體不知モノニ外ノ字ヲ付、姓體知レ

地下ニ不レ限、姓體知タルト知レヌト也外姓トテ、姓ノイヤシキ者ハ、先外從五位下ト云位ニ叙シテ、後年ノ叙位ニ入内トテ、從五位下ニ

叙シ候也。朝臣、宿禰、真人ナドノ尸ニテ候ハヌ姓ハ、皆外姓也、

〔參議要抄上〕一除目事

受領舉事

長房卿抄云、應德二〇二或年除目、伴親宗史被任上總、伴國有由緒、下姓者、上官殊不被任云々、

〔新撰姓氏錄〕上新撰姓氏錄表

伏惟國家降天孫而創業、橫地軸以開邦、一統架宗、環八洲以御辨、五運無代、跨億載而期圖、高門接軫、

甲姓聯衡、枝葉寔繁、派流彌衆、

〔日本書紀九三〕四年九月己丑詔曰、上古之治、人民得所、姓名勿錯、今朕踐祚、於茲四年矣、上下相爭、百

姓不安、或誤失己姓、或故認高氏、其不至於治者、蓋由是也、

〔日本書紀通證十〕高氏右姓也、白孔六帖曰、自魏氏詮總人物、以氏族相高、

〔萬葉集十六〕兒部女王嗤歌一首

美麗物、何所不飽矣、坂門等之角、乃布久禮爾、四具比相爾計六、

右時有娘子、姓尺度氏也、此娘子不聽高姓、美人之所詭、應許下姓、醜士之所詭也、於是兒部女王裁

作此歌、嗤咬彼愚也、